がん種　大腸がん

レジメン名　FOLFOXIRI+BV療法

番号	薬剤名	投与量	投与方法	投与時間	備考	投与日 1	2	3	4	5	6	7	…	14
1	イメンドカプセル	125mg	内服	60-90分前		○								
		80mg	内服	午前中			○	○						
2	ポララミン錠2mg	1錠	内服	30-60分前		○								
3	生食注シリンジ	10m L	静注		投与前フラッシュ用	○								
4	生理食塩液	250m L	点滴静注		ルートキープ用	○								
5	アバスチン	5mg/kg	点滴静注	初回 90分 2回目 60分 3回目以降 30分		○								
	生理食塩液	100m L												
6	アロキシ点滴静注バッグ	1袋（0.75mg）	点滴静注側管	15分		○								
	デキサート注射液1.65mg	6管（9.9mg）												
7	カンプト	165mg/m^2	点滴静注	1時間		○								
	大塚糖液5%	250m L												
8	アイソボリン	200mg/m^2	点滴静注	2時間	エルプラットと同時に	○								
	大塚糖液5%	250m L												
9	エルプラット	85mg/m^2	点滴静注	2時間	アイソボリンと同時に	○								
	大塚糖液5%	250m L												
10	5-FU	3200mg/m^2	点滴静注	48時間	インフューザーポンプ使用	○	○	○						
	生理食塩液	-												
11	生食注シリンジ	10m L	静注		抗がん剤終了後のロック用			○						
12	デカドロン4mg	2錠	内服	朝食後			○	○						

1コース期間（次のコースまでの標準期間）　14日

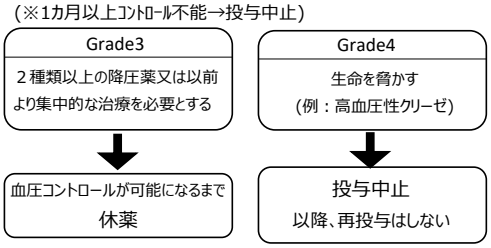
総コース数　制限なし

休薬規定及び減量規定、中止基準

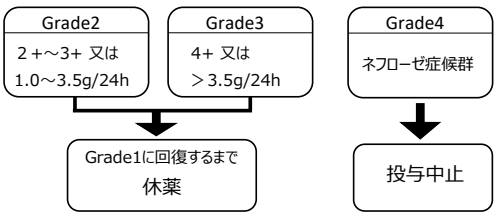
項目	5-FU	カンプト	オキサリプラチン
好中球減少 Grade4 (好中球数＜500/mm³)	減量せず	1段階減量	1段階減量
発熱性好中球減少 Grade3以上			
血小板減少Grade3以上 (血小板数<5.0×10^4/mm³)			
Grade3以上の非血液毒性 (下痢、悪心、嘔吐、口腔内粘膜炎、疲労、末梢性感覚ニューロパチー、末梢性運動ニューロパチーを除く)			
毒性による14日以上の投与延期			
口腔内粘膜炎 Grade3以上	1段階減量	減量せず	減量せず
Grade2の下痢による2回目の休止 またはGrade3以上の下痢	減量せず	1段階減量	減量せず
Grade2以上の 末梢性感覚ニューロパチー 末梢性運動ニューロパチー	減量せず	減量せず	1段階減量

【アバスチン：高血圧発現時の休薬・中止規定】

(※1カ月以上コントロール不能→投与中止)



蛋白尿発現時の休薬・中止規定



・5-FU:T-Bil>5.0mg /dl の場合、投与中止

・カンプト：白血球数が3000/mm³未満または血小板数が100000/mm³未満の場合には投与を中止または延期（基準を満たしていても、白血球数又は血小板数が急激な減少傾向にあるなど、骨髄抑制が疑われる場合には、投与中止または延期）

・L-OHP：投与可能条件

	臨床検査値(/mm³)
好中球数	＜1500
血小板数	<75,000

その他